

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：イアン・ライズリー
 第 2550 地区ガバナー：太城 敏之
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



ロータリー：
変化をもたらす

会長：高木 茂 幹事：稲垣 政一
 事務局：(有)稲垣商事内 稲垣 政一
 〒325-0038 那須塩原市豊浦北町71-3
 TEL:0287-64-1062・FAX:0287-64-1751
 E-mail：wk857@waltz.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2816回 高木茂年度 第35回 会報 2018 6 20 司会 薄孝明 君



会長挨拶 高木 茂 会長

時々ホームセンターやスーパーに買い物に行きますが、ほとんどの商品にバーコードがついております。読み取り機の上を通すだけで品物名と金額が入力されます。

最近のスーパーではお客様自身がその動作をしてお金を入れればお釣りが出てくるスタイルが普及してきております。

前からバーコードが気になっておりましたので調べてみました。黒と白の線にはいったい何を意味しているのか、さらに線には太い線、細い線の2種類があり黒と白、太い線細い線の4種類の組み合わせで、そんなにたくさんの情報が書き込めるのでしょうか。調べてみると、この黒い線と白い線は、太さやその組み合わせ方で0～9までの数字を表していて、数字は2進法によって書き込まれており、黒くても白くても、太い方が1を、細い方が0をあらわしているとのこと。

この数字によって、国名、メーカー、商品名などの情報が書き込まれているとのこと。標準的なバーコードは13桁の数字で、最初の2～3けたが国名を表しています。45と49は日本をあらわしております。次の5けたか7けたが企業名、それに続く3けたか5けたが商品名、残りの1けたはいたずら防止のための計算式の数字になっているとの。

これらの情報を、レーザー光線を使った装置で読み取りますがレーザー光線は何本も出ていて、そのうちの1本でもバーコードの上を通過すれば読み取れるとのこと。

またバーコードの最初と最後には開始と終了のコードがつけられているので、商品をどちらの方向に向けても読み取れる仕組みになっており読み取った値段はすぐにディスプレイに表示されて加算されるが、商品のバーコードそのものには価

格は記入されてはおりません。レジスターの中に通常価格、割引価格、仕入れ値などが登録されていて、設定を変えれば、瞬時に値上げも値下げも出来るようになっていて、各販売店がその都度行う仕組みになります。

また、管理コンピューターに直結しているので、在庫量や売れ行きも一目瞭然。商品が少なくなったら、自動的に問屋のコンピューターに発注することも可能であること。商品の販売戦略にも重要な役目を果たしているようです。

何とも便利な世の中です。

以上で会長挨拶といたします。



幹事報告 稲垣 政一 幹事

● 第14回理事役員会報告

1. 黒澤洋一会員、大森貞男会員、佐藤博会員、月江寛智会員、瀬尾紀夫会員、檜山達郎会員のロータリー歴における出席免除の件が審議され、反対意見なく承認となりました。
2. 荒井昌一会員の申告による出席免除申請の件及び食事代免除の件が審議され反対意見なく承認となりました。

● 第35回幹事報告

1. ガバナー事務所より、大田原中央ロータリークラブ会員、森本敬三君を「2020-21年度国際ロータリー第2550地区ガバナーノミニー・デジグネート」として正式に確定致しました事をここに宣言いたしますとの連絡がありました。
2. ロータリー米山記念奨学会よりハイライト米山219号が届いております。回覧しますのでご覧ください。
3. 那須塩原市国際交流協会より、異文化交流ワールドフェスティバルの連絡が届きました。同じく回覧しますので宜しくお願いします。

出席報告 出席委員会 豊田哲司 君

(出席規定の免除会員数4名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 6月20日	36	29	7(2)	85.3%		
前回 6月6日	36	30			4	94.5%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上 石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp



委員会報告 吉光寺 政雄 副会長

● 吉光寺政雄 副会長



ニコニコボックス 村山茂 君



黒澤洋一君

梅雨時季です。健康には気をつけて過ごしましょう。

時庭 稔君

結婚祝ありがとうございます。

澤田吉夫君

迎えなくても良い誕生日が来てしまいました。

植竹一裕君

遅くなりました、目標達成です。

平山 博君

目標達成。

月江寛智君

スマイルBOX総括。

福田逸男君

ワールドカップ西野ジャパン勝利おめでとう。

村山 茂君

高木会長・稲垣幹事1年間ありがとうございました。

大島三千三君

高木年度お疲れさまでした。

秋葉茂樹君

目標達成。



皆様には一年大変お世話になりました。高木年度副会長、クラブ奉仕委員長として、報告をさせていただきます。

高木年度では、会長が掲げるご家族を含めた楽しい親睦行事として安藤委員長をはじめ澤田副委員長親睦委員会の皆様に観月会、クリスマス家族会、新年会と企画を頂きました。個人的には、観月会で歌舞伎、芸を見せて頂き、若い方の芸の道、生き方を感じるものがありました。

一方、拡大においては、十分な結果が出せず申し訳ない気持ちでいます。最終的には、高木会長檜山会員のご尽力により、井出様が7月の次年度から入会されることになりました。

一点、会員増強について思うところを申し上げます。私が幹事をさせて頂いた当時、大田原中央クラブの幹事さんが、「うちのクラブは若い方が入るんだよ。メンバーに焼肉屋さんがいて、焼肉食べに行こうよ、と誘えば、だいたい入るから」と仰っていました。誘い方も大切だと思います。

● 高木 茂 会長



今年度の例会も早いもので本日と来週の2回を残すのみとなりました。まず、今年度の第2550地区と第一グループの主な行事についてお話しいたします。

○昨年3月12日に第2550地区会長エレクト研修セミナー(PETS)が開催されました。地区方針が示され会長としての心構えをもちました。

○4月12日には地区協議会で地区方針と目標が各指導者に伝達され、今年度の活動がスタートしました。

○9月27日には太城ガバナーを迎えての公式訪問。緊張の中にも和やかな雰囲気でご指導をいただき無事終了することができました。

○10月13～15日には第2550地区最大のイベント地区大会がホスト宇都宮東ロータリークラブのもとで開催され、今年度の事業報告や経過報告、各種表彰式が執り行われました。



高木茂年度 年度総括

● 稲垣政一 幹事



お陰様をもちまして、残すところ、あと1回の例会となりました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

本日は年度総括でありますので、高木茂年度の主だった活動を振り返ってみたいと思います。

《これより配布された資料を基に説明をされた。》

○2月4日には第一グループのインターシティーミーティング(IM)がホスト西那須野ロータリークラブのもとで開催されました。各クラブの事業の発表とギター演奏会が開かれ和気あいあいのもと終了しました。

以上が第2550地区の行事でした。

今年度がスタートするにあたり、国際ロータリー会長イアン・ライズリー氏のテーマとして「ロータリー：変化をもたらす」を掲げておりました。変化とはこれまでよりも柔軟に各クラブが、例会、活動、発展の方法を決定でき、より多くの会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注ぐことを私たちに求めており、太城ガバナナーも、組織の基盤強化とクラブの安定化を図ることが第一と考えており、ロータリーの10年後を見据えて中長期的な視点で推し進めることに重点を置いておりました。

そこでクラブの将来を見据えて組織の充実のためには会員増強しかない。そのためには入会しやすいクラブを作ろうと考え、村山直前会長の協力のもと細則の一部改正をしてもらいました。その内容をふまえプログラム委員会は細則の改正にそって月3回の例会のプログラムを作成していただきました。その内1回は夜間例会を組み入れていただき、会員間のコミュニケーションを活発にすることを目的としました。入会金は20,000円、年会費は180,000円としました。一年間を通してみますと、おおむね好評だったと思います。改善点もあるかと思いますが、次年度の村山会長に申し送りしたいと思います。

私は、ロータリーの10年後を見据えて会員拡大をして組織の充実をはかることを第一に掲げましたが、わたくしの力不足で現実には、残念ですがマイナス1名で本年度が終わります。皆さんもクラブの将来を見据え拡大に努力していただきたいと思います。簡単に拡大と言っても拡大の難しさを実感しました。会員拡大は長期的に取り組まなければならない問題です。会員全員が常に拡大を心掛けてください。これからはもっと組織が充実してみんなで会長をカバーできる体制を作っていきましょう。

つぎに私が実行したのは、歴史と伝統ある黒磯ロータリークラブでも「井の中の蛙大海を知らず」ではいけないと日本のロータリークラブの第一歩となった東京ロータリークラブの例会をみたいと思い、当クラブ例会としてアテンダンスをいたしました。やはり日本で最初のクラブでした。多くの得るものがありました。黒磯ロータリークラブのあり方として、歴史と伝統を守りながら地元の良さを

継承していくクラブを自負する会員になっていけたらと思います。

各委員会の活動ですが、前年度のロータリー財団秋間委員長は社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年委員会と連携して地区補助金を活用した事業を企画し、今年度に高木慶一ロータリー財団委員長のもと青木の屋内馬場「青木ホースガーデン」に利用者が使用する乗馬用ヘルメットを30個寄贈してまいりました。また次の年度にも財団の補助金活用をお願い致します。またグローバル補助金を活用し国際奉仕委員会とロータリー財団委員会が協力し、宇都宮ロータリークラブと連携してタイに消防自動車と給水車を贈る事業を行い国際奉仕委員会の大島会員とロータリー財団委員長高木慶一会員がタイまで出向いて贈呈してまいりました。

社会奉仕委員会では継続事業で那珂川水質調査を今年度も実施しました。青少年委員会と社会奉仕委員会、黒磯高等学校インターアクトクラブが足尾の植樹活動を実施するなど、各委員会が協力して行う事業が繰り広げられました。

この他各委員会、それぞれの年度計画に沿って活動をして充実した一年間だったと思います。インターアクトクラブですが、8月19～20日に第6回全国インターアクト研究会・第4回全国インターアクト委員長会議が第2550地区がホストにて宇都宮にて開催され、翌日には第21回インターアクト年次大会がホスト足利高等学校のもとで開催されました。栃木県での全国大会はあまり例がないとのことでしたが、地区がまとまって運営をして成功のうちに終了しました。黒磯高等学校インターアクトクラブも全国のインターアクトクラブの前で活動報告をする良い機会に恵まれたと思います。第2550地区にはインターアクトクラブが16クラブありましたが、2月18日に宇商マーキュリーインターアクトクラブが提唱宇都宮東ロータリークラブのもと認証状伝達式が執り行われ、17番目のインターアクトクラブが誕生しました。私も参加して若い力に期待する一日でした。この一年間を振り返ってみると予期せぬことが起こりましたが組織が充実し会員の理解と協力が得られればスムーズに運営ができると思います。黒磯ロータリークラブの良いところは、いざという時には一致団結できることです。会員増強はただ単に増やすのではなくロータリーを理解して入会してもらうのが一番だと思います。私が1年間会長を務めることができたのも、稲垣幹事始め多くの皆様の協力があった今日が迎えられたのかなと思っております。以上で私の年度総括といたします。

6月20日欠席(敬称略)

荒井昌一・安藤譲治・石山桂子・小野安正
戸野俊介・泉道夫・佐藤博

前回6月6日分メイクアップ(敬称略)

鈴木久雄・石山桂子・時庭稔・澤田吉夫

次回例会 平成30年6月27日 18時点鐘 夜間例会・退任挨拶

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：田中 徹・藤崎善隆・鳥居輝一